

令和5年度「世界史基礎」シラバス

科目名	必修・選択	単位数	類型
世界史基礎	選択	2	文型・GC
教科書 副教材等	教科書：詳説世界史（山川出版社）		

1 学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる資質・能力を育成することを目指す。

2 学習概要

- ・「歴史総合」で学習した近現代の歴史について、その背景となっていた世界の歴史を広い視点から捉え、現代の様々な課題の形成に関わる近現代の歴史をより深く理解していきます。
- ・いろいろな資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめる力を更に身に付けるようにします。
- ・学習内容や調べた内容を多面的・多角的に考察したり、考察したことを説明したり、それらを基に議論したりします。

3 学習方法

- ・受け身にならないためにも事前に教科書を一通り読んで、問題意識を持って授業に望んでください。
- ・授業は真剣に、一言一句も聞きもらさず、メモを取るなどしてポイントをつかんでください。
- ・問題意識を持つためにも、質問することを恐れなくてください。疑問があったら積極的に質問したり、Chromebookなどを使用して調べてください。
- ・副教材のノートや授業のメモををしっかりとまとめてください。
- ・日頃の「リアクションシート」をおろそかにせず、提出を必ずしてください。
- ・定期試験前には歴史用語はもちろん、その意味もよく理解して覚えてください。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能 (①)」、「思考力・判断力・表現力 (②)」、「学びに向かう人間性 (③)」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

「知識・技能 (①)」：定期試験・小テストなど

「思考力・判断力・表現力 (②)」：授業プリント・リアクションシート・発表など

「学びに向かう力 (③)」：ノート・提出物・授業態度・リアクションシート・発表など。

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考力・判断力・表現力 (②)	学びに向かう人間性 (③)
評価基準	近現代の歴史の変化に関わる事柄について、広い視野から捉え、近現代の歴史を理解できる。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめられる。	学習した内容や調べた内容を多面的・多角的に考察する。またその考察したことを説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	現在と過去の関連性を認識し、現代の世界における諸課題への関心を深めている。また、諸課題を主体的に解決しようと取り組むことができる。

## 5 学習計画

学期	単元名	学習のねらい（内容のまとめごと）	考査等
一学期	第12章 産業革命と環太平洋革命  第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成  第14章 アジア諸地域の動揺	産業革命や環太平洋革命はどのように展開したのかを理解し、お互いにどのような関係にあったのかを考察する。  国民国家と近代市民社会の形成は、欧米諸国においてどのように進んだのかを理解・考察する。  ヨーロッパ諸国の進出に対して、各地の政権や人々はどのように対応したのかを理解・考察する。	中間考査   期末考査
二学期	第15章 帝国主義とアジアの民族運動  第16章 第一次世界大戦と世界の変容  第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	帝国主義の動きを理解し、諸地域に与えた影響について考察する。  第一次世界大戦について展開を理解し、世界にもたらした変容について考察する。  第二次世界大戦によってせかいがどのようにかわり、また、何が変わらなかったのかを考察する。	中間考査   期末考査
三学期	第18章 冷戦と第三世界の台頭  第19章 冷戦の終結と今日の世界	冷戦のもとで発生した問題とそれに対する国際社会の対応について理解・考察する。  今日の様々な諸課題について考察する。	学年末考査